



フレックスタイム制導入は 何のため？誰のため？

フレックスタイム制は駅職場に馴染むのか？

10月1日長岡統括センター（燕三条駅・浦佐駅・越後湯沢駅・長岡駅輸送室）においてフレックスタイム制が拡大導入されました。

団体交渉において、私たちは導入により安全・サービス品質が低下することがないように、働きがい向上を求めました。交渉において会社は「鉄道オペレーションはコアタイムで全てまかなうこと」「フレキシブルタイムありきの作業ダイヤは作らない」と示しました。しかし、フレックスタイム制導入以降、団体交渉で確認された事柄が守られていない実態が明らかになりました。

「鉄道オペレーションは全てまかなえる」

4. フレックスタイム制が導入される各駅のコアタイム内に入らない作業を箇所毎に明らかにすること。

回答.各箇所の鉄道オペレーションの遂行に必要な業務をコアタイムに集約する考えである。(以下省略)

(組合) 導入される箇所で作業ダイヤに入っていた業務がコアタイムから外れた業務はないか。

(会社) 精査している段階だが、基本的にはない。

「フレキシブルタイムありきの作業ダイヤは作らない」

18. フレックスタイム制導入により、改札が無人となる時間帯はあるのか明らかにすること。

回答.各箇所の鉄道オペレーションの遂行に必要な業務をコアタイムに集約する考えである。

(以下省略)

(組合) 改札業務はコアタイムと思うが、まかなえていない可能性があるのか。

(会社) 改札業務はコアタイムなのでダイヤを組み、フレキシブルタイムで改札に立つことはない。

私たち東日本ユニオンは社員の労働条件向上のための議論を行っています。

フレックスタイム制導入により、働きがい・サービス品質は向上しましたか？社員の働きがいを向上させるためのフレックスタイム制について一緒に考えてみませんか？

私たち東日本ユニオンの集会に参加して、より良い職場・労働環境を共に創り出しましょう！

営業職場集会開催

〇とき

2月20日(金)
14:30~

〇ところ

新潟市万代市民会館